

拝啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本日お手紙におきまして、当団体についての案内を差し上げたく、ここに同封致します。自家中毒症候群に苦しめられている子供達やその家族の方々に、当協会についてお知らせいただければ、幸いに存じます。

自家中毒症候群協会(Cyclic Vomiting Syndrome Association : CVS A)は、自家中毒症候群患者に対する支援団体として設立されました。オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、イギリス等に充足された同様の団体と密に連絡を取りながら、世界全国にネットワークを広げ、自家中毒症候群患者に新しい情報を提供することを目的としています。その他、詳しい資料、及び、団体への加入手続きについてのご質問等は、下記までお願い申し上げます。

Cyclic Vomiting Syndrome Association

13180 Caroline Court

Elm Grove, WI 53122

Tel (414)784-6842

Fax (414)821 5494

ご多忙の折、誠にお手数と存じますが、宜しくお願い致します。

敬具

繰り返される激しい嘔吐に 苦しむ子供達がいることを あなたはご存じですか？

自家中毒症候群とは・・・

自家中毒症候群は主に幼児に見られますが、希には大人にも見られます。その症状は吐き気を伴う周期的な発作や、原因不明の嘔吐、及び、衰弱によって特徴付けられます。嘔吐は一時間に五回から十回という高い頻度で見られ、一回の発作は平均して数日程度で治まりますが、時には十時間にも及びます。毎回の発作はそれぞれ類似しており、他からの感染の恐れはありません。患者の発作時以外の健康状態は、通常、極めて良好です。

この症候群の徴候は、幼児から成人まで年齢にかかわらず表れる可能性があります。最も多く見られるのは3才から7才までの幼児期に於いてです。発作の頻度については、一年に数回起こることもあれば一月に数回起こることもあり、かなり個人差があります。患者は男児より女児に多く、乗り物酔いや偏頭痛体質との関連も見られています。発作の誘因と考えられるものとして、精神的緊張や極度の興奮、風邪などがあります。また、特定の食物や麻酔薬などが原因となり、発作を誘発する場合もあるようです。

発作は特に夜間、もしくは早朝に始まることが多く、間断ない激しい吐き気と嘔吐によって患者は苦しめられます。唾液も共に吐き出されてしまうために患者は強い枯渇感を感じる人が多いようです。患者の顔は蒼白し、頭痛や微熱、時に腹痛や下痢の症状を伴います。度重なる嘔吐が刺激となり、食道から軽い出血の見られることもあります。嘔吐による脱水症状を初めとするこれらの体験は、患者とその家族にとって生命の危機を感じるほどの恐怖となる場合があります。

嘔吐は他の病気にも数多く見られる症状であり、自家中毒症候群の症例が余り一般的ではないため、その診断は非常に難しいものとなっています。また、特定の血液検査やレントゲン検査などによって診断

されることもありません。そのため診断には医師の患者に対する注意深い観察が必要となり、嘔吐を伴う他の病気から適切に区別されることが重要となってきます。

その他、自家中毒症候群についての問い合わせ、支援についての質問等は下記連絡先まで：

◎自家中毒症候群協会◎
Cyclic Vomiting Syndrome
Association

13180 Caroline Court
Riv Grove, WI 53122
Tel (414)784-6842

〈自家中毒症候群協会は、自家中毒症に関する、医療・教育の充実、及び、調査・研究を目的とした、自家中毒症候群患者とその家族のための支援団体として1993年に発足されました。〉